

龍谷の教育

No.173

2025.Winter



〒840-0054 佐賀市水ヶ江3-1-25 電話 0952-24-2244 FAX 0952-24-3828 URL <https://www.sagaryukoku.ed.jp>

龍谷生
国スポ・文化・地域で大活躍！



いよいよ受験シーズン到来！！

高校教育における 生成AIの活用と課題

主幹教諭

中島 一明



(ジェネレーティブAI)

近年、生成AIの技術が急速に進化し、その応用範囲が広がっています。高校教育の現場においても、この技術の活用が注目されています。生成AIは、生徒たちに新たな学びの機会を提供し、教育の質を向上させる可能性を秘めています。

まず、生成AIの活用方法についてです。生成AIは、生徒の学習体験を大きく向上させることができます。例えば、生徒の興味関心に応じたカスタマイズされた教材を生成することが可能であり、個々の学習ニーズに対応できる点が魅力です。これにより、生徒は自分のペースで学習を進めることができ、自律的な学習を促進します。また、生成AIを活用した対話型の学習アプリケーションを通じて、生徒はリアルタイムでフィードバックを受け取り、理解度を深めることができます。さらに、生成AIは生徒の創造力を引き出すツールとしても活用できます。例えば、作文やプレゼンテーションのアイデアを生成したり、プロジェクトの計画を立てる際に役立つ情報を提供したりすることで、生徒のクリエイティブな活動をサポートします。これにより、生徒はより多様な視点から物事を考える力を養うことができます。しかし、その一方で課題も存在します。生成AIの活用に伴う課題につ

て考えてみます。第一に、生成AIの品質と信頼性の問題があります。生成されたコンテンツが正確でない場合、生徒に誤った情報を提供するリスクがあります。また、AIシステムの理解不足や利用方法の誤りからトラブルが発生することも考えられます。これを生成AIのハルシネーションといいます。教育者はAIの生成物を慎重に評価し、必要に応じて修正や補足を行うことが求められます。

第二に、生成AIの導入には費用や技術的な問題があります。高度なAIシステムを導入し、運用するためには、相応の予算と専門知識が必要です。特に中小規模の学校にとっては、経済的な負担が大きくなる可能性があります。また、技術的なトラブルが発生した場合、それを迅速に解決するためのサポート体制も整備する必要があります。

第三に、生成AIの倫理的問題もあります。生徒の個人情報取り扱いや、生成AIの使用に伴うバイアスの問題など、慎重に対処すべき課題が存在します。教育現場での生成AIの使用に際しては、プライバシー保護や倫理面でのガイドラインを確立し、適切な運用を行うことが重要です。

以上のように、高校教育における生成AIの活用には多くの可能性がある一方で、課題も少なくありません。教育者や学校管理者は、生成AIの利点と課題を十分に理解し、適切なバランスを保ちながら導入を進めることが求められます。生成AIの技術が進化し続ける中で、教育の質を向上させるための新たなアプローチが模索されることを期待しています。

季節も一段と寒くなり、今年は雪が良く降るという印象があります。子ども頃は、雪が降るだけでその日一日が楽しくてしょうがなく、積もるとさらに幸せな気持ちになったような気がしました。今でも積もった日の朝はいつもよりシーンと静かで、外一面真っ白で、太陽の光が反射してキラキラしている風景を見るというのと思っています。ただ一方で雪が積もると通勤・通学が不安になったり、ニュースでドカ雪が降って大変、というような報道を見ては心配の方が勝ってし

準として物事を見てしまっているのです。阿弥陀如来という仏様のものさしで見た私の姿というのは『邪見(じゃけん)』という自分勝手なものの見方で、『憍慢(きょうまん)』という自分が一番正しい！とおごり高ぶる厄介な姿であるそうです。そのことを知らされた時に、ふと自分の恥ずかしい姿が明らかに、改めて私というのは厄介な存在だと気づかせていただきます。

同 朋

学校というところでは、たくさんの人いて、たくさんのお会いがあり、たくさんのものであります。学校生活を送るうえで楽しい時もたくさんありますが、時に衝突したり人を見下したり傷つけてしまったりということもあるかもしれません。そのような時、ふと気づいた時には立ち止まって自分自身を見つめ直して、自分中心のものさしで見えていないだろうか、あるいは相手にとって嫌なことや傷つけるような言葉をかけていないだろうか、ということを考えることができます。

また違った結果になるかもしれません。一つ一つの物事を一期一会と捉えて大切にすることが日々健やかに過ごさせていただくことに繋がっていくのだと思うと思います。

最近、AIが発達して大変便利な時代になりました。私自身も良く助けてもらっていますが、そんなAIでも今後読み取ることが難しいのは、このところと基準や要求が変わっていく私自身の厄介なものさしなのだろうと、つくづく申し訳なく思いこてあります。

(水町賢心)

生徒会交代式

11月7日に本校体育館にて、生徒会の交代式が実施されました。前会長である山口健太さん（文理③武雄中）は、「生徒会活動に関わってくださった全校生徒のみなさん、先生方、本当にありがとうございました。新生徒会のみなさんにはこれからの活躍を期待しています。頑張ってください。」と感謝を伝えるとともに、新生徒会執行部へ激励の言葉をおくりました。

新生徒会長に任命された内山田光翼さん（文理②城北中）は、「生徒会全員で切磋琢磨して、頑張っていきます。」と決意を示しました。

旧生徒会執行部のみなさん、一年間お疲れ様でした。活動の中で得た経験はとても貴重なものとなったと思います。

新生徒会のみなさん、活動を通して周囲の方々に支えていただく幸せを実感するとともに、多くの生徒に良い影響を与える存在となることを願っています。（文責 小杭）



学園報恩講

12月16日（月）に願正寺さまにおいて、「学園報恩講」を執り行いました。報恩講とは浄土真宗の宗祖である親鸞聖人のご命日にあたって、阿弥陀如来の本願の味わいを深めさせていただく、真宗門徒にとって最も大切な法要です。本校は浄土真宗本願寺派の宗門関係学校であり、毎年12月に「学園報恩講」という形で、発祥の地である呉服元町の願正寺さまで営んでおります。

コロナ禍の際は関係者のみ現地参集してのリモート実施や、一部の学年のみ参集といった形式を取りましたが、今年度は久しぶりに全校生徒・全教職員が願正寺さまに集まり、ともに聴聞をさせていただくことができました。

ご法話のテーマは「報恩」で、ご講師の先生は松浦組西光寺の立花聡師からのお話をいただきました。

年に一度の「学園報恩講」、多忙な日々の連続ではありますが、全員で仏さまのお話を活かさせていただき、自身の生き方を振り返る大切な時間になったと感じます。（文責 平井）



サッカーで広げる笑顔、心の輪と和



11月11日、雨が心配されましたが、気持ちのいい青空が広がりました。今年6回目となる佐賀県立盲学校の生徒さんたちとのブラインドサッカー交流会を行いました。6回全てに参加して下さっている生徒さんも多く、今年は「サッカーの試合をやりたい!!」「応援の練習をやりたい!!」という要望もあり、例年よりもサッカーに近い形で実施することができました。今年も岸原さんをお招きし、ボールに慣れながらいろんなゲームを行いました。そのあとは選手が主導し、応援の

練習。簡単なチャントをグループに分かれて練習をし、大きな輪になってチャントを歌いました。まるで、最初から知っていたかのように盲学校の生徒さんも飛び跳ねながら歌ってくれました。最後の試合では、(本当のブラインドサッカーではNGですが。)大きな声で応援をしながら、「ボイ!ボイ!」「右!右!」「もっと前~!!」「ナイスゴール!」という笑顔いっぱいの声があふれました。今年は選手権出場を決めて、笑顔をお届けしたかったのですが、残念ながらそれは叶わず……。それでも盲学校の生徒さんから「これからも龍谷高校サッカー部を応援します!がんばってください!」と言ってくれた、選手たちは新たな自分たちの目標に向かってスタートを切りました。盲学校の生徒の皆さん、先生方、岸原さん、ありがとうございました。

交流会の様子は龍谷高校サッカー部公式HP（活動内容）からもご覧になれますので、ぜひご覧ください!!

（文責 不二見）



図書部×保育部×龍谷子ども園 コラボ企画

～「しろくまちゃんのほっとけーき」～

図書館では、11月の読書週間にあわせて「図書館フェスティバル」を開催しました。その企画の一環として、11月22日に図書部・保育部・龍谷子ども園のコラボ企画「ICTを活用した絵本『しろくまちゃんのほっとけーき』の読みきかせ」を実施しました。PDF化した絵本と、話の展開に合わせて編集した動画子どもたちに観てもらい、最後にはチョコレートペンを使ってホットケーキに絵を描きました。子どもたちが楽しんでいる姿をみて、生徒たちは達成感を得ているようでした。ご協力してくださった皆様、ありがとうございました。

（文責 小杭）



保育コース あそびフェスタ

11月6日あそびフェスタが「水族館」をテーマに龍谷体育館で開催され、龍谷こども園の園児たちを招待して、交流を深めました。2年生と3年生は海の生き物をモチーフにしたおもちゃや遊べるブースを制作し、1年生は園児たちと一緒に回りながら園児たちをサポートしました。園児も生徒たちも笑顔があふれる楽しいイベントとなりました。

「制作中は大変でしたが、子ども達のはしゃいでいる姿を見ることができてとても嬉しかったです。」野口愛珠（保育③ 武雄中）

「みんなで遊びを考え、作ることができました。園児達と一緒に各ブースを回るときは、園児達の好奇心旺盛な行動に対応が難しいこともありました。」林みゆ（保育③ 三田川中）

「子ども達が安全に楽しく遊べるように一生懸命作りしました。グループの人数が少なく、思い通りにいかないこともありましたが、子ども達が笑顔で楽しそうに遊んでくれたので嬉しかったです。この経験を生かして、来年も子ども達が楽しく安全に遊べるあそびフェスタを作りたいです。」横尾絢衣（保育② 城南中）

（文責 古賀良子）



つむぎあい活動

～保育コース3年生と龍谷こども園年長児が紡ぐ1年間の交流～

保育コースの3年生は、龍谷こども園と連携し、1年間を通じて年長児とペアを組み交流プログラム「つむぎあい活動」に取り組んでいます。この活動の最大の特長は、生徒が1年間同じ園児を担当することです。生徒たちは、園児と一緒に制作活動を行ったり、運動あそびをしたり、風あげなどの様々な活動を通じて、保育者としての責任感やコミュニケーション能力を高め、園児一人ひとりの個性や成長を身近に感じながら、より深い関わりを持つことができました。

「ペア活動を通じて、たくさん子どもたちと関わることができ、とても楽しい時間を過ごしました。担当した2名の園児は、それぞれ性格や興味が異なっていたため、最初は関わり方に戸惑うこともありましたが、一緒に多くの活動を重ねるうちに、次第に心を開いてくれ、笑顔で話しかけてくれたり、一緒に楽しんで活動に取り組む姿を見ることができました。この経験を通じて、園児に対する声のかけ方やコミュニケーションの取り方についても、自分なりに成長を実感しています。」中山琴美（保育③ 神埼中）

「初めは、担当の園児と仲良くなれるか、嫌がられないかと不安でした。しかし、活動を通じて、楽しそうに話してくれたり、膝の上に座ってくれるようになり、不安が和らいで自信が持てるようになりました。特に印象に残ったのは、自分たちで企画した運動遊びです。園児と協力してゲームを進める中で新しい一面を発見でき、とても貴重な経験となりました。この経験で学んだことを進学先でも生かしたいです。」北村紗希（保育③ 鍋島中）

（文責 古賀良子）



九州大学共創学部合格



特別進学コースの松信 明莉さん（特進③ 城南中）が、総合型選抜入試で九州大学共創学部合格しました。そこで、松信さんに以下の質問に答えていただきました。

・なぜ九州大学の共創学部を志望しましたか。

九州大学共創学部でなら「世界のジェンダー問題の解決」という夢に近づけると考えたからです。共創学部では、文理の垣根を超えた幅広い学問に触れることができます。入学後は、ジェンダー問題を様々な方向から見つめ、解決に貢献したいです。

・総合型選抜入試で受験した理由を教えてください。

試験内容に惹かれたからです。年明けの一般入試でも同学部を受験する予定でした。しかし総合型選抜では、活動歴報告書や集団討論などを通して、偏差値では表せない能力が測られます。その仕組みに魅力を感じ、受験を決めました。

・受験に向け、どのような学習をしていましたか。

現在もそうですが、朝から夕方までよく図書館で勉強していました。時には外を散歩したり、友人と世間話をしたりして、気分転換の時間取ることも心がけていました。長時間集中できる勉強場所や、自分に合う勉強のリズムを知っておくと、質の高い学習が維持できると思います。

・後輩に一言お願いします。

挑戦を躊躇わないで欲しいです。私は当初、本校から合格者がいないという理由で、総合型選抜で受験に挑むか決めかねていました。しかし受験を決めた後は、自分の持てる力を信じて対策を進め、合格することができました。この先、皆さんが受験や就職などで進むべき道に迷ったとき、是非自分の可能性を信じてほしいとです。

（文責 小杭）



「大学入学共通テスト」 激励会

1月18日（土）、19日（日）に実施される「令和7年度大学入学共通テスト」に向けて、「共通テスト激励会」が15日に行われました。進路部長から「受験上の注意」、校長、学年主任からは「激励の言葉」をいただき、受験生を代表して3年A組の坂井桃子さん（特進③ 城南中）が「決意の言葉」を発表してくれました。3年間または6年間、龍谷で学び、身につけた学力を100%発揮し、進路実現を成し遂げる決意を固めることができましたと思います。本校からは、87名が佐賀大学鍋島キャンパスで受験しました。20日（月）は自己採点、27日（月）からは国公立大学の出願が始まります。



（文責 長田）

「持続可能な社会（SDGs） を創りあげていくための提言」 発表会

特別進学コースの探究活動である「G-pro」では、1年次に、SDGs基礎講座（地球市民の会）、プレゼンテーション講座・留学生交流会・ウェルビーイング講座・アントレプレナーシップ講座（佐賀大学）などを行い、2年次には1年で学んだことをヒントにして「持続可能な社会を創りあげていくための提言」をグループで探究し、まとめあげる活動をしています。

今回は、2年生の4つのグループが発表し、相互評価を行った結果、全国魅力度ランキングで最下位となってしまった「佐賀県」の観光問題を解決するための1つの方策として、近隣のイベントと佐賀県のイベントをリンクさせて人を集めていくことが、佐賀県の魅力を全国に広めていくことにつながると提言したグループが最優秀賞を受賞しました。また、審査員、アドバイザーとして、



佐賀大学様、地球市民の会様からご協力を得ることができたことに感謝いたします。ありがとうございました。

（文責 長田）

文理進学コース ハウステンボス街頭英語

12月27日、文理進学コースの1年生がハウステンボスの「日帰り英語体験 街頭英語」に参加し、ネイティブのスタッフの方との英会話を楽しみました。以下、生徒たちの感想です。

「単語が出てこなくて少し黙っている時間があったのでジェスチャーや、近い意味の言葉を使うことが大切だと分かりました。」 古川 遥人（文理① 城東中）
「単語とそれを繋げる文を本当にまだまだ知らないことがあったので、まずは単語の勉強を頑張らなければいけないと思いました。」

福崎 桃花（文理① 成章中）
（文責 小杭）



文理進学コース 龍谷大学オンライン

文理進学コースの1年生を対象に、進路学習の一環として「龍谷大学オンライン」を実施しました。生徒たちは、1時間目に龍谷大学についてのガイダンスを受講し、2時間目には文系と理系に分かれて模擬講義を体験しました。また、「龍谷大学オンライン」の最後には本校の卒業生が登場し、大学生活や進路の決め方について話をしてくれました。生徒たちにとって、自身の進路について考える良い機会となりました。

「将来どのような職業に就職しても会計の知識は必要不可欠であるということ学びました。企業ひとつだけでも様々な人が関わり合っていることから、経営は資本主義の日本にとって、とても重要であることがわかりました。」

岩永 陸（文理① 城南中）

「各大学でどのような研究をされているのかを調べて、2年後に自分にあった大学を見つけられるよう、いっぱい知識をつけていきたいです。」小園 美羽（文理① 城西中）
「自分も将来AIについて学ぼうとしているのですが、AIと人との関係を心理学の視点で見るという考えはとても新鮮でした。」 江崎 一聖（文理① 佐大附属中）

「（先輩たちは）自分の望んだ学部に行って、講義・課題に取り組むだけでなく、資格の勉強や部活動など周りの環境をフルに使って自身の学びに繋げようとしていた。また、とても楽しそうにお話しされている様子から、大学生活が充実していることを感じて、大学進学を今よりもっと前向きに検討することができました。」

中島 あすか（文理① 鍋島中）

（文責 小杭）

Ryukoku Interview

【吹奏楽部】

吹奏楽部が「第50回佐賀県吹奏楽アンサンブルコンテスト 高校生の部」で金賞を獲り、佐賀県代表となりました。以下、リーダーを務めた辻 真心さん(総合③ 昭栄中)の感想と意気込みです。

「先日行われた佐賀県アンサンブルコンテストで金賞を受賞し、県代表として2月9日に行われる九州大会に出場することになりました。県大会では、緊張から練習通りの演奏ができず、涙を流したメンバーもいました。本番まで残された時間は僅かですが、悔いの残らないようメンバーと協力し合いながら練習に励んでいきたいです。また、3月15日には佐賀市文化会館で定期演奏会を開催します。たくさんのご来場を部員一同、心よりお待ちしております。」

(文責 小杭)



龍谷 SPORTS & CULTURE

【剣道部】

第46回大旗旗争奪剣道大会(11月30日～12月1日・ケーブルワン・スポーツパーク)

男子団体 3位

平田 謙心(②龍谷) 武末 紫道(②柳川 大和)
江頭 大聖(②北茂安) 奥山 晃英(②龍谷)
川内丸太一(①龍谷) 高橋 颯(①三橋)
中村旺志郎(①熊本 帯山)

令和6年度佐賀県高等学校新人剣道大会兼第39回九州高等学校選抜剣道大会県予選会(12月14日～15日・吉野ヶ里文化体育館)

男子団体 4位(九州大会出場)

平田 謙心(②龍谷) 武末 紫道(②柳川 大和)
江頭 大聖(②北茂安) 奥山 晃英(②龍谷)
川内丸太一(①龍谷) 高橋 颯(①三橋)
中村旺志郎(①熊本 帯山)

女子団体 3位(九州大会出場)

川内丸美緒(②龍谷) 大曲 遥寧(②龍谷)
安達 心希(②三瀬) 石橋 杏愛(①龍谷)
實松久玲愛(①龍谷)

男子個人

2位(九州大会出場) 江頭 大聖(②北茂安)

3位(九州大会出場) 平田 謙心(②龍谷)

女子個人

8位(九州大会出場) 實松久玲愛(①龍谷)

【柔道部】

令和6年度佐賀県高等学校新人柔道大会(10月26、27日・牛津武道館)

男子団体 3位(九州大会出場)

森永 倫平(②芦刈) 北島 弘琉(②芦刈)
飯盛 裡恩(②昭栄) 堀 廣斗(①有田)
本村 勇斗(①小城)

男子個人

優勝(九州大会出場) 森永 倫平(②芦刈) 60kg級

2位(九州大会出場) 飯盛 裡恩(②昭栄) 73kg級

3位 本村 勇斗(①小城) 81kg級

3位 北島 弘琉(②芦刈) 100kg級

令和6年度九州高等学校新人柔道大会(11月23、24日・久留米アリーナ)

男子団体 2回戦敗退

森永 倫平(②芦刈) 北島 弘琉(②芦刈)
飯盛 裡恩(②昭栄) 堀 廣斗(①有田)
本村 勇斗(①小城)

男子個人

3位 森永 倫平(②芦刈) 60kg級

【陸上】

第44回国見台陸上競技カーニバル(9月21日・国見台陸上競技場)

男子走幅跳 3位 小林 翔(②金泉) 5m99

男子400m

2位(タイムレース) 松江 春規(②城東) 53.79

2024年度 秋季記録会(11月9日・SAGAスタジアム)

男子共通300m 3位 延 連太郎 34.86

男子走高跳 1位 福山 直(③鳥栖) 1m90

女子走幅跳 1位 海老原もえ(②香楠) 5m15

【男子バスケットボール】

第55回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会佐賀県大会(12月14日・佐賀商業高校体育館)

2回戦敗退 龍谷 57-71 有田工業高校

【女子バスケットボール】

第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会佐賀県

大会(9月23日、28日・高志館高校、多久高校)

1回戦 龍谷 44-39 弘学館

2回戦 龍谷 50-67 白石高校

第76回佐賀県高等学校バスケットボール新人大会兼第55回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会佐賀県大会(12月8日・神埼高校)

1回戦 龍谷 33-56 弘学館

【サッカー】

第103回全国高校サッカー選手権大会佐賀大会(9月29日～11月10日・駅前不動産スタジアム他)

準優勝

3回戦 龍谷 7-0 北陵高校

準々決勝 龍谷 3-0 佐賀農業高校

準決勝 龍谷 2-0 鳥栖工業

決勝 龍谷 3-1 佐賀東高校

高円宮杯U18サッカーリーグ2024サガリリーグ

1部 優勝

2部 2位

3部 3位

【空手道部】

令和6年度佐賀県高等学校新人体育大会空手道競技(11月10日)

男子団体組手(5人制) 1位 男子団体組手(5人制)

男子個人組手各階級統一戦

1位 光吉 泰雅(②昭栄)

男子個人組手(C階級)

1位 光吉 泰雅(②昭栄)

男子個人組手(B階級)

2位 小柳 僚雅(②武雄北)

男子個人組手(A階級)

3位 山田 凱斗(①東原彦倉東部校)

男子個人組手(D階級)

3位 小島 一悟(②佐大附属)

男子団体形 2位 男子団体形

男子個人形 2位 山田 凱斗(①東原彦倉東部校)

女子団体組手(3人制) 2位 女子団体組手(3人制)

女子個人形 1位 宮崎 祥歩(②鳥栖)

【弓道部】

令和6年度佐賀県高等学校弓道選手権大会兼第43回全国高等学校弓道選抜大会佐賀県予選会(11月9日・多久高校体育館)

男子団体 準優勝 男子団体決勝リーグ 3勝1敗

【男子バレーボール】

第77回全日本バレーボール高等学校選手権大会佐賀県予選会(11月9日・佐賀西高校)

一回戦敗退 龍谷 0-2 北陵高校

【女子バレーボール】

第77回全日本バレーボール高等学校選手権大会佐賀県予選会(11月9日・佐賀西高校)

一回戦敗退 龍谷 0-2 牛津高校

【水泳】

令和6年度全九州高等学校選手権新人水泳競技大会第86回全日本(9月28日～29日・鴨池公園水泳プール)

女子50mバタフライ 黒木 彩那(①城西) 32秒35

女子100mバタフライ

黒木 彩那(①城西) 1分12秒40

男子50m平泳ぎ 中村 奏太(①佐大附属) 31秒57

男子100m平泳ぎ

中村 奏太(①佐大附属) 1分12秒63

【自転車競技部】

令和6年度佐賀県高等学校自転車競技新人大会(10月27日・Odds Park TAKEO)

スプリント

1位 山下 隼(①神埼) 11秒36
2位 松浦 慶生(①光 大和) 11秒91
3位 藤本 海(②八代 泉) 12秒28

1kmタイムトライアル

1位 山下 隼(①神埼) 1分11秒54
2位 後藤 結希(②城東) 1分15秒78
3位 松浦 慶生(①光 大和) 1分16秒69

ケイリン

1位 山下 隼(①神埼)
2位 松浦 慶生(①光 大和)
3位 藤本 海(②八代 泉)

令和6年度全九州高等学校自転車競技新人大会(11月1日～3日・熊本競輪場/HSR九州)

4km速度競争 3位 山下 隼(①神埼)

【野球部】

第155回九州地区高等学校野球佐賀県大会(9月14日～28日・鳥栖球場、ブルースタジアム、さがみどりの森球場)

優勝

2回戦 龍谷 6-4 佐賀東

3回戦 龍谷 7-0 唐津南(7回コールド)

準々決勝 龍谷 8-4 早稲田佐賀

準決勝 龍谷 3-1 北陵

(延長11回タイブレーク)

決勝 龍谷 3-1 佐賀北

第155回九州地区高等学校野球大会(10月26日～11月1日・佐伯中央病院スタジアム、別大興産スタジアム)

1回戦敗退 1回戦 龍谷 3-5 柳ヶ浦

【吹奏楽部】

第52回マーチングバンド全国大会九州予選(11月9日・鳥原復興アリーナ)

銀賞

第50回佐賀県吹奏楽アンサンブルコンテスト(12月22日・佐賀市文化会館大ホール)

サクソフォン8重奏

金賞(佐賀県代表)

辻 真心(③昭栄) 樋渡 真実(③西有田)

富永 美咲(③城北) 石原 そら(②城南)

富永 一平(①城北) 宮原菜亜紗(①鍋島)

本告 楓(①神埼) 山本 望心(①鍋島)

【書道部】

令和6年度佐賀県「税に関する作品(書道)展」(11月16日) 佐賀市租税教育推進協議会会長賞

梶原 葵衣(②小城)

第36回佐賀県高等学校総合文化祭(11月4日)

秀作 梶原 葵衣(②小城)

中島 百音(②東与賀)

中津海珊瑚(②腹栄)

小柳 僚雅(②武雄北)

永田明日香(②成章)

古賀 凜(①龍谷)

豊増 恒生(①龍谷)

第49回佐賀県高等学校臨書展(1月7日)

秀作 梶原 葵衣(②小城)

中島 百音(②東与賀)

中津海珊瑚(②腹栄)

小柳 僚雅(②武雄北)

永田明日香(②成章)

古賀 凜(①龍谷)

豊増 恒生(①龍谷)



龍谷SDGsなう

『龍谷中学校高等学校SDGs行動憲章』
4つの柱に基づき、SDGs推進教育を行っています。

学校法人佐賀龍谷学園龍谷中学校高等学校SDGs行動憲章



- ①持続可能な社会を創造できる人を育成する教育を提供します
- ②持続可能な社会を創造できる人を育成する教育の場を創造します
- ③持続可能な社会を創造する地域の実現に貢献できる地域の基盤となります
- ④理想的な生徒の育成を実現するために教職員のディーセントワークを実践します

●世界の平和への想いを込めて！ (まなびいフェスタ)

11月10日

昨年度学んだSUN（佐賀受け入れネットワーク）の活動、ウクライナ伝統モタンカ人形を、今年度はアウトプットして、多くの人に知ってもらい、一緒に平和を願った。昨年お世話になったウクライナ出身の講師サポートもあり、来場者は途切れることなく楽しんでモタンカ人形を作成していた。小さい子どもも多く、「今日、お姉ちゃん達に教えてもらって初めて固結びができた」というエピソードはとても嬉しく感じられた。

(文責 徳森)



事前準備スタッフ
(モタンカ人形キット作成)



当日スタッフ（事前学習でモタンカ人形への想いを学び、ワークショップサポートをした）



プレゼン発表（次世代リーダー塾体験記・JICA高校生国際協力実体験プログラム参加報告・能登半島被災地視察・活動報告、STEAM学習）



●佐賀のクリークをライトアップ

11月23日

日本画家大串先生のご指導のもと、竹とうろう絵付けワークショップに参加者として、また、夕方には佐賀大学生と松原神社に設営スタッフとして活動した。ライトアップされた色とりどりの竹とうろうに魅了され、心とむひとときを過ごすことができた。

(文責 徳森)



●ブラックライトで光るクレヨンで描き、 川に想いをはせる・・・

11月17日

今年も『森川海人っフェス！』に龍谷ブースを出展。サイエンス部が考案した「ブラックライトで光るクレヨンを使って、川の生き物を描く」ワークショップを行った。ボランティアスタッフとして中高一貫理数グローバル1～5年生が参加し、来場者の方は楽しかったと笑顔で帰っていただくことができた。企画担当者である中学2年生の山本雷日さんは「初めは試行錯誤の日々でしたが、ボランティア生徒や部員たちの協力のおかげで円滑に運営できた。この経験を活かして、みんなを引っ張っていける人になりたい。」という感想を述べ、自身もまたかけがえのない学びを得られたようだった。

(文責 梶島)



●外国人って何？本当の意味での多文化共生 を考える

12月12日

中部アフリカ・カメルーン共和国出身で漫画家の星野ルネ氏が、ご自身の著書『アフリカ少年が日本で育った結果』を用いて、これから生きるための新しい世界観を届けてくださった。グローバルな時代だからこそ、皆が気兼ねなく、アイデンティティが表現できる空間作りを1人1人が意識していきたい。

(生徒感想)

- ・外国人との違いは言語や環境だけであって人間の本質的な部分では変わらないということが印象に残った。
- ・ルネさんを見に来て心無い言葉を放っていた人から友達が守った幼少期のエピソードを聞いて、私もそのような人間になりたいと思った。



(文責 徳森)



「興味関心」、「好き」が成長の原動力

龍谷 中学校

中高一貫 理数グローバル

「RG学会」

理数グローバル生、探究的な学びを語る

令和6年11月16日（土）、本校講堂において「RG（理数グローバル）学会」を開催しました。



この4月からFLPの時間に探究学習に取り組んできました。1年生はSDGsに関わる諸問題について考えていくSDGs探究学習、2年生は職業や働くことに関わることにについて考えていくキャリア探究学習、3年生は自分自身のこれからの生き方について考えていくFuture Design探究学習、そして、4・5年生はグローバル社会で役に立つ人になるために自分ができることをテーマに、自らの興味関心に基づいて考えていく理数グローバル探究学習を行いました。すべての学年において、各自問いを立てて、その問いを解決するために探究していく形式を取りました。それぞれの学年がもつテーマに基づいて、問いを立てると

いうことは難しいことでしたが、それぞれの生徒が自分に関係する問題点や疑問点を探り、それを問いとして設定していた生徒が多かったです。自ら見つけた問題点を解決するための問いを設定することにより、その問いを解決していくという気持ちが生まれ、ネットや様々な情報を検索したり、ゲストとして来てくださった講師の話や参考になったり、職場体験学習で経験したことを参考にしたりしながら、考えを深め、各生徒の答えを導き出していきました。

「迫力のプレゼンテーション」

この探究学習についての発表会にあたるものがRG学会です。10月、11月に各学年において学年発表会を行い、各自の成果について情報共有を行いました。そして、それぞれの学年から代表者4、5名程度が選ばれて、11月16日に講堂に



で行われたRG学会において、大変素晴らしいプレゼンテーションを行ってもらいました。理数グローバルでは、自分の考えをスライドと共に自分の言葉でオーディエンスに伝えることに力を入れており、どのプレゼンテーションもエネルギー溢れるものになっていました。そのプレゼンを支えるプレゼン用の耳に掛けるタイルのマイクやYoutube Live用のマルチカメラシステムなども、とある企業からお借りすることができ、プレゼンテーションの環境として最適なものになりました。また、今回はFLPで取り組んだ探究学習の成果だけではなく、4年生の数名が経験した貴重な出来事をプレゼンテーションを通じて、理数グローバル特別発表として、紹介してくれました。

「生徒みんなで作りあげる」

1年生から5年生までの理数グローバル生が一同に集まり、お互いの学習成果



数グローバル探究学習を行いました。すべての学年において、各自問いを立てて、その問いを解決するために探究していく形式を取りました。それぞれの学年がもつテーマに基づいて、問いを立てると



を共有するというRG学会は発表する人にとっても大変意義深いことなのですが、この会を裏方で支えるスタッフの存在も大変重要なことです。このRG学会は発表をしない生徒が役割分担をし、生徒自ら学会を進行していく形をとっています。実行委員長やステージ袖スタッフ、タイムキーパー、司会進行、掲示物、音響照明、そして、プログラム担当といった役割があり、生徒たちが数日間打合せを行い、RG学会を裏方として支えてくれていました。プログラム係は、ウェブサイトのCanva（キャンバ）と各自のiPadを用いて、1つのファイルを共同編集し、ファイルのやり取りをせずに、RG学会のプログラムを完成させました。こうしたところにもiPadを活用することができました。

理数グローバルにおいて、探究学習は始まったばかりで、まだまだその進め方やテーマの掘り下げ方についても現在進行形で学び続けているところです。ただ、こうした身近な問題に気づき、それを問いとして課題設定を行い、調査や経験、プロトタイプ作成などのリサーチ活動を行い、問いを解決するために学びを探究していく、学びを深めるといいう学習スタイルは現代において、学校内外で求められています。理数グローバルでは、これからも自らが学びを進めていく力「自走力」を育み、問題を見つけ、主体的に物事を解決していくという態度や力を育てていきたいと考えています。

（文責 中村）

「学習成果発表会」

11月16日(土)午後、「学習成果発表会」を開催しました。

日頃の学習活動を基本とし、更に各分野に意欲的に挑戦した成果を発表する機会となりました。中学生による「英語弁論」、「少年の主張」、「書道パフォーマンス」など。高校生による「次世代リーダー塾参加報告」、「能登半島被災地支援事業参加報告」、「JICA九州高校生国際理解実体験プログラム参加報告」など盛りだくさんの内容が紹介されました。最後は中学生全員での合唱で最高のフィナーレを迎えました。

多くの生徒がいろいろなことにチャレンジし、貴重な経験を積み重ねながら成長している様子が伝わってくる素晴らしい時間でした。

(文責 松尾)



女子剣道活躍！

「佐賀県中学生新人剣道大会」団体優勝

令和6年11月9日(土)・10日(日)

(於・佐賀市立小中一貫校思斉館)、「佐賀県中学生新人剣道大会」が開催されました。

女子団体の部で本校女子剣道部が見事優勝。女子個人では實松聖恋さん(②千代田西部小)が第3位と健闘しました。

試合後、選手のみなさんは、日頃支えていただいている指導者、家族、そして多くの方々への感謝の気持ちを述べ、一緒に頑張っている仲間をお互いに称え合いました。

(文責 松尾)



女子個人第3位
實松 聖恋さん

私たちは、今回の結果に満足することなく、努力を重ね、龍谷中剣道部のプライドを持って全力で頑張ります。

これからも応援よろしくお願いします。

いつも応援ありがとうございます。佐賀県中学生新人剣道大会において龍谷中学校女子が団体優勝することができました。

優勝することができたのは、日頃よりご指導してくださる先生方や先輩方、支えてくれる家族のサポートのおかげです。そして何よりチームメイトのおかげです。

九州龍谷短期大学

学園だより

九州龍谷短期大学

鳥栖市

メディアコースの岸川達哉さんが動画コンテストで優秀賞受賞😊



佐賀警察本部主催「SNS型投資詐欺、SNS型ロマンス詐欺被害防止のための啓発動画」コンテストにおいて、人間コミュニティ学科メディアコース2年の岸川達哉さんが制作した15秒動画「投資の誘いは彼氏から」篇が見事優秀賞を受賞しました。おめでとうございます。



受賞した作品は、QRコードより視聴できます。是非ご覧ください。

佐賀龍谷学園が設置する学校（短大・高校・中学）に、兄弟姉妹が二人以上在籍する場合、二人目以降のお子様の入学金が減免されます。
詳しくは、各学校事務室までお問い合わせください。

幼保連携型 認定こども園

九州龍谷短期大学付属

龍谷こども園

“レストラン・お店・病院・乗り物・街を守る” 仕事って？



▲どんなお仕事があるのかな～。
クラスみんなで意見を出し合おう！



▲こんな病院あったらいいよね～！
設計図に書こう！



▲チームの友達と協力して小道具・大道具作り！

“こんなまちあったらいいな”『みんなのげんきまちにおいでよ』

今年のつばめ組は、「お仕事」をテーマに生活発表会を行いました！ つばめ1組（5歳児）の教育・保育活動の一部をご紹介します！



▲パトロール開始！



▲いらっしゃいませ！



▲友だちの前で発表は、楽しいね！